

こどもの声は、未来の声
~Transforming Our World~

大口町 こども ワークショップ

NEWS LETTER ①



8月16日水曜日の午後、大口町の健康文化センター4階ほほえみホールで、第1回「大口町こどもワークショップ」を開催しました。この日は、48人の子どもの参加がありました。

まず、大口町役場こども課から「子どもの権利」について説明を聞いたあと、「ゲームで学ぼう！SDGs～ほしい未来は自分でつくる。」を実施しました。はじめに、動画やスライドで「SDGsって？」を学んだあと、チームでカードゲームに挑戦！

ゲーム後には、気づいたことをテーブルごとに話し合って振り返り、ゲームを通じて、自分の意識や行動が、じつは世界とつながっていること、自分ごととして動く人が増えれば世界が変わる＝未来は変えられることなどを実感しました！

こどもワークショップの初回は、楽しくてあっという間の3時間でしたね(^^)／

1 オープニング

まずはじめに、健康福祉部の小島部長より、あいさつがありました。

大口町は昨年、町政60周年になりました。これを機に、町では子どもの権利を守る「こども条例」の策定に取り組んでいます。

昨年度はちょうどみなさんぐらの年齢の方を対象にアンケートをしました。今年は直接意見を聞くため、この「こどもワークショップ」を企画しました。1000人に招待状を送り、人が集まるか心配したのですが、あっという間に先着50人が集まりました。本当にありがとうございます。

今日はSDGsカードゲームを通じて、地球を守る、人と人との関係を学ぶ内容になっています。たくさん考えてたくさん学んで、楽しんでいただけたらと思います。

2 子どもの権利について

こども課の平子さんより、子どもの権利についてお話を聞きました。

子どもの権利は、みなさんが生まれながらに持っている権利です。子どもの権利は大きく分けて4つあります。「生きる権利」（住む場所や食べ物があり、病気になったら病院に行き医療を受けられるなどして命が守られる）、「育つ権利」（勉強したり遊んだりして持って生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できる）、「守られる権利」（紛争に巻き込まれず、難民になったら保護され、暴力や搾取、有害な労働から守られる）、「参加する権利」（自由に意見を表したり、団体をつくられたりできる）。

昨年度子どもたちを対象におこなったアンケート調査では、悪口を言われたり仲間外れにされたりしない、安心して生きる、差別されない、愛されて幸せな生活を送る…など15の権利の中で、大事だと思う権利はどれかを聞きました。この中で誰も選ばなかったものはありませんでした。つまりこれらのすべての権利は、誰かが大切だと思っている権利なんです。自分の権利が守られると共に周りの友達の権利も守られなければいけません。大切だと思う権利は人それぞれ違います。それだけいろんな考えがあります。だから、大口町はみんなのアイデアをもらってこども条例をつくりたいと思っていますので、ぜひいろんなアイデアを聞かせてください！



③ SDGs とは～2030SDGs ゲーム

動画やスライドで「SDGs って？」を学んだあと、カードゲームに挑戦！
ゲームを通じて、自分の行動が世界とつながっていることを実感しました！

このゲームは？… 様々な価値観を持った人（チーム）が自分達のゴールを達成するため、お金と時間を使いながらいろいろなプロジェクトを進め、その活動が世界にインパクトを与えます。「経済」「環境」「社会」の3つの指標で表す世界の状況メーターを確認しながら、他のチームと交渉したり協力しあって活動していくと…2030年とはどんな世界になるかな？



SDGs は… 持続可能な世界にしておくために国連が2016年～2030年の15年間で達成する目標をさだめた行動計画。貧困・福祉・教育・ジェンダー・まちづくり・気候変動など…17のゴールの下には169の具体的なターゲットがあります。

★SDGs がなぜ必要なのか？

★SDGs があることでどんな可能性が生まれるか？を考えることが今日の目的です！



4 ふりかえり～「つながっている世界」

ゲームを通して気づいたことや、現実の世界で活かそうなどについて、一人ひとりで考えて、意見交換したあと、進行役のTAKEZOより、SDGsの本質についての話を聞きました。

ポテトチップス、シャンプー…など、わたしたちが何気なく買っているものが、じつは森林伐採につながっています。さらに森林伐採は、地球温暖化だけでなく、汚職、児童労働、差別、貧富の差、テロなど、ほかの事ことにもつながっているんだね。SDGsの本質の1つは「世界はつながっている」そして「私も起点」ということ。もう1つは「見える化」です。世界が目指す目標を「見える化」し、共有することによって行動が変わる。自分ごととして動く人が1人でも増えれば、世界が変わる！未来は変えられるんだね！



SDGsで学んだことは大口町のまちの未来を考えるときでも同じ！

まちづくりの心得は

①バックキャストिंग

最初に目標とする未来像を描き、そのためにどうしたらいいか考えよう！

②人が動くのは「正しい」からでなく「おトク」だから

正しいだけでは人は動かない！相手にどんなトクがあるか考えよう！

③主語は「わたしたち」=こども！

自分が動けば世界が変わる！自分たちができることを次回考えよう！



進行役
TAKEZO



ひとことアンケートより

SDGsは、国のえら人や頭のいい人たちが考えているイメージがあって、遠い存在のように思えたけど、意外と身近にあって、自分も何かできないか考える機会ができてよかった／自分たちのことばかりを優先すると、環境が悪くなったりするから、他の影響していることを全て考える必要がある／SDGsを知っていても、行動しないと意味がない／意識をして行動すると、目標を達成できる／自分たちが変われば世界が変わるとわかった／あまりにも楽しくて、時間があっというまでした ほかたくん！

お問合せ NPO 法人まちねっと大口

TEL・FAX (0587) 22-6642

※月～土（祝日除く）9:00～17:00（12:00～13:00除く）

✉ E-mail machinet@heart.ocn.ne.jp

こどもの声は、未来の声
~Transforming Our World~

大口町 こども ワークショップ

NEWS LETTER ②

8月30日水曜日の午後、大口町健康文化センター4階 ほほえみホールを会場にして、第2回「大口町こどもワークショップ」を開催しました。最終回となったこの日は、総勢47人の子どもたちの参加がありました。

テーマは、「ワクワク未来★アイデアコンテスト」。まず、3人1組で大口町の魅力や課題を出し合うブレスト（ブレインストーミング）の練習をしたあと、大口町の課題を解決し、魅力を高める「子ども発！2023★未来×子どもプロジェクト」のネタをできるだけたくさん書き出しました（ひとりブレスト）。

その後、各回違うメンバーで「3人ブレスト」を3セット行い、お互いにアイデアを披露・意見交換する中で磨きあげたプロジェクトを1枚の「アイデアスケッチ」に表現。大人も含めた全員がそれらの案を見て回って、いいなと思うスケッチに星印をつけて投票。上位3人がプロジェクト案をスクリーンに映し出し、アイデアをプレゼン。最後に、輪になって全員で気づきや約束を分かち合いました。

1 アイデアソン

子ども発！「2023★未来×子どもプロジェクト」を提案せよ！

■ブレストの練習（大口町の魅力は？課題は？）



まずは大口町のいいところ、悪いところを出し合ってアイデア出し＝ブレインストーミングの練習！コツは、①質より量！、②笑いや奇抜さ重視！、③横取り・相乗り大歓迎！の3つ。

■ひとりブレスト(発想)

個人で「子ども発！2023★未来×子どもプロジェクト」のアイデア、ネタ出し！



■3人ブレスト（醸成）



3人1組になって、お互いのアイデアを紹介し合い、いいなと思ったことや感じたこと、素朴な疑問などを伝え合いながら意見交換。途中で2回メンバーチェンジし、多くの人と話をする中で、発想を刺激し合いました。

■アイデアスケッチ



意見を交わす中で得たヒントやアドバイスをもとに、アイデアをブラッシュアップ。1つの案を1枚のスケッチに表現。

■ハイライト法（良案抽出）



シートを見て回り、魅力的なアイデアに★をつけて投票。

2 結果発表～アイデアレビュー

得票数の多かった上位3人からアイデア紹介！

1位

五じゃう川を明るくする大イベント

- 五じゃう川を今よりもっと明るい観光地のようにする。
- 春夏秋冬で開きいして、それぞれの魅力を全開にする！
- 大人から子どもまで、みんなできかして、毎回最高のきかきをする！ 大人から子どもまでみんな、



みんなの共感を集めた上位の案以外でも上位 55% はダークホース。いいアイデアが隠れていると言われていよ！

2位

ごみひろいラリー

ごみひろいと観光を両立することで、大口町をきれいにし、大口町の魅力を高めることができる！！

わたしたちが観光を楽しみながら大口町をきれいにすることができる。町全体 → この町の魅力について知ってもらい、町の景観がよくなる！！

ごみをひろうことで「ゴミをポイ捨てしてはいけない」ということを人々に再認識させることができる

3位

大口町の学校を使った「かくれんぼ」

大口町の学校をふたつだけ地域「年齢別」で分けて、大人も子どもも楽しめる「かくれんぼ」！！

一番さかしまで見つかりやすかった「かくれんぼ」スタートのしるしをデザイン！！

大口町の学校をふたつにすると、大口町のおもしろさを知ってもらえるチャンスがはなはな！！

3 チェックアウト

これまでの気づきと約束を全員で分かち合いました。

Awareness (これまでをふりかえって気づいたこと・感じたこと)

●自分たちが主役となってアイデアを出したり、知ることが大切だと気づきました ●このイベントのおかげで、たくさんの人となかよくなれるといううきげができました。たのしかったです ●社会や自分の町の改善点や良い所を知ることができて、そのために私達ができることはたくさんあるんだと知れました ●自分の意見を広げていくところがおもしろかった ●自分だけじゃ出なかった意見が、他の人とふれあうだけでこんなに出てくるんだとびっくりしました。みんなのおかげでよりよいアイデアになりました。これからは他の人に積極的に声をかけたいと思いました ●かんたんなことでも、やらないよりマシだと思いました。おじけず動いた方が自分のためになっていくんだと思いました ●子どもだからこそできることがある。大口町にはたくさんの魅力があり課題もある。大口町は私達で変えられる ●私たち子どもでも未来は変えられることが分かりました。自分が大口町のためにできることはたくさんあるんだと感じました ●大人にまかせて進む未来ではなく、私たちが考えて行うことで未来を変えることが可能であると分かった。関係ない、自分には何もできない、という考えよりも、自分が未来を変えるために動かなくてはならないと感じた ほかたくさん



Commitment (わたしは大口町のために…を約束します！)

- ポイ捨てをしないこと ●いろいろな活動に参加してみる
- 自分からすすんであいさつをしたり意見を言ったりすること ●人とのつながりを大切に、大口町内、外の人とも仲良くなること ● ほかたくさん

お問合せ NPO 法人まちなえと大口
 TEL・FAX (0587) 22-6642
 ※月～土 (祝日除く) 9:00～17:00 (12:00～13:00 除く)
 ✉ E-mail machinet@heart.ocn.ne.jp